

令和7年度（2025年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

商 法

A 日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和7年度（2025年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	商	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

問題1（15点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

1. 甲社は代表取締役Yを中心として設立された株式会社であり、Yがワンマン経営者として甲社を私物化していた。甲社の株主には、支配株主Yのほか、A（Yの子）とX（Yの遠縁）がおり、甲社の定款には、発行するすべての株式の取得について取締役会の承認を要する旨の定めがある。
2. 甲社の業績は従来、右肩上がりに推移していたが、今年になり、Y主導による詐欺的営業が長年行われていたことが週刊誌にスクープされた。これを契機にテレビでも大々的に報道され、顧客からの代金返還請求訴訟が相次いで提起された結果、甲社の売上高は極端に落ち込んだ。
3. Xは、自己の保有株の価値が毀損されたとして、Yに対して損害賠償責任を追及しようとしている。

[問い]

XのYに対する損害賠償請求の当否について論じなさい。

問題2（10点）

定款に記載のない財産引受けの効力について、判例の立場を踏まえつつ論じなさい。

以上